

# 2021年度 第1四半期 決算のご説明

(2021年4月1日～2021年6月30日)

ほぼ想定通りの進捗、受注は好調  
本格回復に向け取組みを加速

2021年7月29日  
本多通信工業株式会社  
代表取締役社長 榎尾 欣司

Value by Connecting **HTK**

2

## 1-1. 21/1Q業績

- 売上高は設備投資の活況によりFA・通信分野が伸長、車載分野は半導体不足の影響により調整局面、情報システム分野は前年超え
- 足元は部材不足がネックとなるも、ほぼ想定通りの進捗
- 営業利益は固定費増に調達/物流コスト増が加わり若干不足
- 受注は拡大、部材不足は緩和傾向、本格回復に向け取組みを加速

単位:百万円、( )内利益率

為替(\$/円) 期中平均	20/1Q 108円	21/1Q 109円	前年比	21年度 通期予想 107円	進捗率
売上高	3,107*	4,204	135%	16,500	25%
営業利益	▲194 (▲6.2%)	87 (2.1%)	-	500 (3.0%)	17%
経常利益	▲63 (▲2.0%)	114 (2.7%)	-	450 (2.7%)	25%
純利益	▲53 (▲1.7%)	96 (2.3%)	-	320 (1.9%)	30%

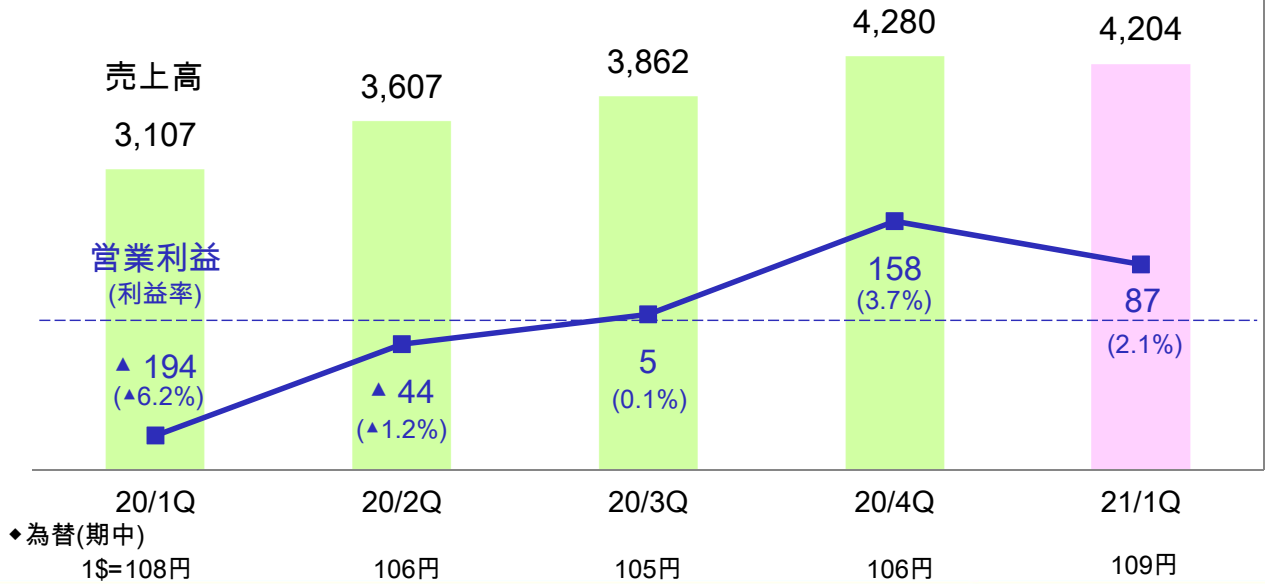
※「収益認識に関する会計基準」の適用に伴い、過去の決算数値を遡及修正しています

Value by Connecting **HTK**

## 1-2. 四半期業績推移

20/1Qから回復基調も、  
部材不足により本格回復へは足踏み

単位:百万円

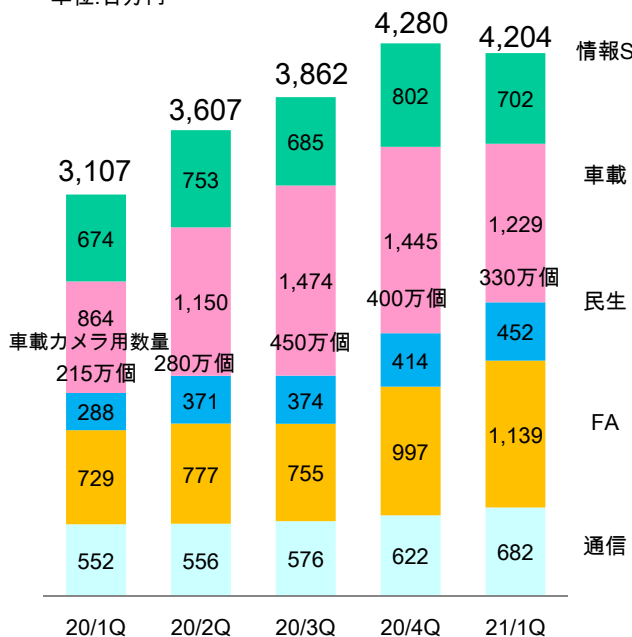


Value by Connecting **HTK**

## 2-1. 分野別販売状況

コネクタ事業・情報S事業ともに回復基調は継続

単位:百万円



情報S  
対前年4%増と回復基調  
製造DX開発を本格スタート

車載  
半導体不足により顧客が減産、調整局面  
下期にかけて回復を見込む

民生  
PC向けコネクタ、SDソケットが好調  
一眼レフ・医療機器向けSDが堅調に推移

FA  
設備投資の活況継続、部材不足がネック  
調達状況次第で更なる伸長を期待

通信  
通信インフラ投資の好調が継続  
引き続き堅調な推移を見込む

Value by Connecting **HTK**

## 2-2.コネクタ事業 連結受注推移

20/1Qから急回復、旺盛な需要により今期に入り更に拡大  
部品確保目的の在庫積上げや先納期発注も要因

単位:%

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2021年度 前期比	+36	-	-	-	-
前年同期比	+140	-	-	-	

1\$= 109円

2020年度 前期比	-10	+11	+34	+13	+12
前年同期比	-18	-8	+27	+50	

1\$= 108円 106円 105円 106円 106円

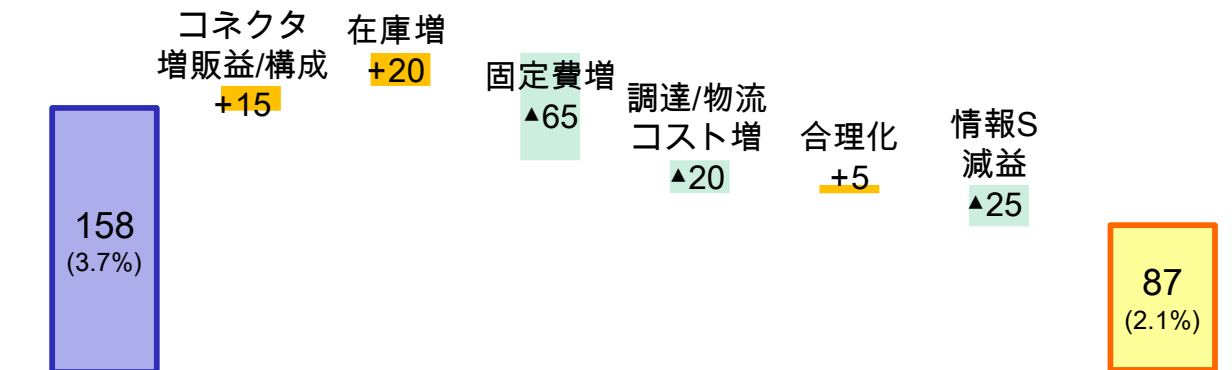
実勢為替レートで算出

Value by Connecting **HTK**

## 3. 21/1Q 営業利益分析(20/4Q比較)

固定費増、調達/物流コスト増、情報Sの季節要因で減益  
利益率改善に向け合理化の取組みを加速

単位:百万円  
( )内 利益率



20/4Q  
◆為替(期中)  
1\$= 106円

71百万円 減益

21/1Q

1\$=109円

Value by Connecting **HTK**